

和やかで明るい議会を



議会議長
小林チイ

新年のお慶びを申し上げます。昨年は暗いニュースの多い一年でありました。企業の倒産、解雇、住む家までも奪われる人々。不況の嵐は全世界を吹き荒らし、とどまるところを知らぬかのようによ...

南相馬市も合併3年を経過し、やっと落ちついた感じがいたします。しかし財政面はどうかと申しますと、国・県より下りてくる財源が少なれば厳しくならざるを得ません。

でも、こういう時だからこそ、お互いの絆を強く持ち、助け合ってこの難局を乗り越える以外に道はないものと思っております。

さて、私達24名の議員は、執行部より提案されました議案を慎重に審議をし、南相馬市を少しでもよりよい方向にすべく頑張っているところでございます。

議場の中に於いては、厳粛な場所であり、暴言を吐いたり、不穏当な言葉は許されません。議員の意見は自由にくらでも述べることは勿論出来ませんが、より和やかな雰囲気の中で議会運営をして参りたいと考えております。

そして、この不況から一日も早く立ち直り、もとの平穏な明るいまちにしたいものと思っております。

最後に、市民の皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。

総務常任委員会



(後列右から) 櫻井勝延、平田武一、宝田義一、太田淳一
(前列右から) 高野光二、田中一正、寺内吉安、小林吉久

建設経済常任委員会



(後列右から) 横山元榮、小川尚一、五賀和雄、土田美恵子
(前列右から) 郡俊彦、小林正幸、小川尚一、白瀬利夫、湊清一

新しい年に期待して



議会副議長
五賀和雄

平成21年の幕開けと共に、皆様におかれましては希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

ご承知の様に、昨年はアメリカ大手証券会社の破綻をきっかけに、世界的な経済不況となり、特に景気のバロメーターと言われる自動車産業への大きな打撃など、先の見えない不況の年でもありました。

南相馬市も合併4年目となりますが、民間企業にたがわず税金の落ち込みと共に、国県からの交付金・補助金の大幅な削減など、益々財政運営が厳しい状況でもあります。

市民サービスを下させないで、如何に安心・安全な暮らしが出来るかが私共に与えられた課題でもあり、そのためには必要経費の無駄をなくすことは勿論のこと、各種事業を進めるにあたっては、緊急性・必要性または投資的効果はどうなのかなど、十分検討し対応しなければなりません。

昨年策定された南相馬市総合計画は、市民の皆さんの『潤い』『安心』『活力』を重点課題としてスタートしました。

20年後、50年後も南相馬市に住んで良かったと言われるまちづくりの指針であり、これらの実施にあたっては、多くの方々の声も反映しながらチェックもし、提言をすることが私共議会の役目とも考えます。

平成21年度が、明るく希望の見える年になりますことを深く念じながら、新年の挨拶と致します。

文教福祉常任委員会



(後列右から) 西銃治、志賀稔宗、渡部寛一、今村裕
(前列右から) 小林チイ、坂本恒雄、西野光雄

議会運営常任委員会



(後列右から) 小林正幸、田中一正、土田美恵子、白瀬利夫
(前列右から) 寺内安規、小川尚一、小平武久